

# 平成29年度授業改善推進プラン【保健体育】

## 〔教科の観点〕

- ①運動や健康・安全への関心・意欲・態度    ②運動や健康・安全についての思考・判断  
 ③運動の技能    ④運動や健康・安全についての知識・理解

教科	生徒の実態と分析	指導上の課題	授業改善の視点と方策
1年	<p>○授業に意欲的であるが、指示をしっかりと聞いていない場面がある。</p> <p>○保健体育が好きな生徒と、好きでない生徒がはっきりとしている。</p> <p>○指示がないと動けないことが多く、自主的な行動がうまく取れない。</p>	<p>○指示をしっかりと聞き取り、行動に生かせるようにする。</p> <p>○教員の指示がなくても体育係を中心としてできることを進められるようにする。</p> <p>○授業の振り返りが十分にできない生徒が多いため、学習カードの活用を促す。</p>	<p>○一つ一つの行動を徹底させるとともに、繰り返し行わせることで習得を図る。</p> <p>○授業の目標を立てる際に、「何が・どのように」できればよいのか明示する。</p> <p>○学習カードや授業の記録を書かせることにより、自己評価能力を一層育む。</p>
2年	<p>○新しいこと、難しいことに取り組むときには意欲が高まり、生き生きとした様子が見られる。</p> <p>○体育は苦手であっても活発な生徒が多く、授業はとも活気がある。</p>	<p>○リーダーを育成し、仲間と協力する心や協調性を高め、意欲的に授業に取り組ませる。</p> <p>○教師の指示を待つことなく、自ら思考・判断して動くことで運動の喜びを実感させる必要がある。</p>	<p>○リーダー育成の一環として、グループ学習を活用し、練習計画や作戦等を立てる中で、生徒の自治的能力を高めていく。</p> <p>○学習カードを利用し、個人の目標設定や課題を立てさせ、課題解決のためにどのようにしていけばよいのか工夫させる。</p>
3年	<p>○全体的に、運動能力が高い。個人差が大きく、技能の習得にも差が出ている。</p> <p>○男子は体を動かすことが好きな生徒が多く、授業に主体的に参加している。女子は得意不得意がはっきりとしているが、苦手でも一生懸命取り組もうとする姿勢がある。</p> <p>○素直に取り組む生徒が多く、全体に指示を出す前に自主的に活動する生徒が多い。</p>	<p>○意欲的に活動するため、効率的に学習を進めていく中で、技能の向上が実感できるようにしていく。</p> <p>○生徒が互いに協力し認め合える授業づくりを行っていく。</p>	<p>○2学年で習得した基礎的・基本的な技能を更に向上させ、応用力を付けさせる。</p> <p>○各種目の目標や課題を明確にする。</p> <p>○仲間同士で、互いに助言し、協力し合える授業を実施する。</p>